

## 関西のスポーツ振興に向けて

当会では、2018年7月に策定した「関西スポーツ振興ビジョン」に基づき、関西の産学官・スポーツ界の連携のもと、「生涯スポーツ振興」「トップアスリート育成」「スポーツイベント招致」「スポーツ産業振興」を4本柱に据え、2025年を目標年として「スポーツで輝く関西」の実現をめざし活動している。また、開催が2年後に迫った「ワールドマスターズゲームズ2027関西大会」については、大会組織委員会と連携して機運醸成等に取り組んでいる。

今号では、2024年度の活動状況を紹介するとともに、「ワールドマスターズゲームズ2027関西大会」についても概要等をあらためて紹介する。

### 「生涯スポーツ振興」事業

#### ■ スポーツイベントへのアスリート派遣事業

本事業は、企業所属のアスリート、元アスリートを関西各地の自治体等が実施するスポーツイベントに派遣し、パフォーマンス披露やスポーツ教室、講演会等のイベントを通じてスポーツ人口の拡大、および各種スポーツの普及、実施率の向上などをはかることを目的に2020年度から実施している。

2024年度は、奈良県、京都府、三重県、兵庫県等において、野球や陸上競技、柔道といった種目で計15件の派遣協力を実施した。

参加者からは、「トップ選手に走り方を教えてもらい、より陸上競技が好きになった」、また派遣先の自治体からは「毎年実施するなかで地域と派遣元企業とのつながりができた」といった評価の声が寄せられた。



奈良県(野球教室)

#### ■ 関西スポーツ応援企業表彰

当会と関西広域連合は、関西のスポーツ振興や地域振興、健康経営等に取り組んでいる企業等を表彰する「関西スポーツ応援企業表彰」を2019年度から実施しており、今回で6回目を迎えた。2023年度からは企業で働く審判員の表彰も実施している。

2025年1月23日に開催した表彰式では、松本正義会長と三日月大造広域連合長から、受賞した5社の代表と審判員の方々(表)に対し、表彰状と副賞を贈呈した。

#### 表 関西スポーツ応援企業表彰 受賞企業・受賞者

**大賞：日本生命保険(大阪市)**  
所属選手によるスポーツ教室等、地域のスポーツ振興

**スポーツ振興賞：鴻池運輸(大阪市)**  
国際交流の促進にも寄与するサッカー大会の開催

**地域振興賞：第一生命保険(大阪市)**  
関西各地域のスポーツチームとの協働

**健康経営賞：ミツイバウ・マテリアル(松阪市)**  
従業員の健康促進に向けた費用補助、社内ジムの設置

**特別賞：ホリゾン(京都市)**  
競技発展や地域貢献をめざし、スカッシュコートを建設

#### 審判員表彰：

米良 秀夫(大阪泉州農業協同組合/大阪陸上競技協会)  
細川 泰輔(京都生活協同組合/大阪ハンドボール協会)  
中井 聖典(NTTデータMHIシステムズ/兵庫県モルック協会)  
高梨 琴子(グローリー/兵庫県剣道連盟)  
津田 直幸(大阪シーリング印刷/滋賀県バレーボール協会)  
山際 達也(本田技研工業/三重県レスリング協会)  
浮池 亮太(関西電力/福井県バスケットボール協会)



表彰式

### 「トップアスリート育成」事業

#### ■ 医科学支援事業

将来有望なジュニアアスリートの競技力向上をスポーツ医科学の側面から支援するため、当会は2020年度から、関西の大学等の協力も得て支援事業に取り組んできた。2023年5月、こうした関西広域での取り組みがスポーツ庁事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」に採択され、同年11月には実施主体として関西の行政機関・経済団体・

スポーツ関係団体・大学等が参画する「関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム」が設立された。

本コンソーシアムでは、関西各地の6つの支援機関との連携のもと医科学支援事業に取り組んでいる。2024年度は各府県体育・スポーツ協会から推薦された34名を対象に医科学測定会を実施するとともに、医科学サポートプログラム(測定会参加者のうち優秀な選手9名に対する総合的支援)などを実施した。

## 「スポーツ産業振興」事業

### ■ 第3回関西スポーツ振興シンポジウムを開催

2024年12月9日には「スポーツを通じてウェルビーイングを向上させるためにできること」をテーマに、大学スポーツコンソーシアムKANSAI(KCAA)、関西広域連合とともにシンポジウムを開催。約200名が参加した。

パネルディスカッションには、北京五輪・リオデジャネイロ五輪柔道銅メダリストの中村美里氏、東京・パリパラリンピック競泳金メダリストの木村敬一氏、アシックス常務執行役員の甲田知子氏がパネリストとして登壇し、活発な議論が交わされた。

### ■ スポーツイノベーションフォーラムを開催

スポーツ産業振興の新たな取り組みとして2024年度に実施したのが、スポーツ・ヘルスケア分野のスタートアップと企業との交流を目的としたスポーツイノベーションフォーラムである。2025年3月5日に開催し、約70名が参加した。

フォーラムでは、女性の健康課題の解決をめざすフェムテック関連事業を展開するFlora、位置情報アプリを活用したスポーツイベントの企画等を手掛けるリアルワールドゲームス、スポーツを通じた地域活性化プラットフォームを展開するスポーツネーションの3社がプレゼンテーションを行った。またオープニングトークには日本バレーボール協会の川合俊一会長が登壇し、スポーツビジネスの可能性を語った。

### 2025年度はワールドマスターズゲームズの機運醸成にも注力

2025年度は特にワールドマスターズゲームズに向けた準備が本格化する。各事業と並行して大会の参加促進に向けた取り組みを強化していく。

(地域連携部 橘知孝・味谷宗由・小澤隆)

## 開催まであと2年！ワールドマスターズゲームズ2027関西大会！

2021年5月に開催を予定していたワールドマスターズゲームズ関西大会はコロナ禍により長期の延期となり、名称を「ワールドマスターズゲームズ2027関西大会」と改めました。2027年5月14日から30日まで、**関西の13の府県政令市を舞台に、35競技59種目**が行われます。

ワールドマスターズゲームズとは、**概ね30歳以上であればだれもが参加できる世界最大級の国際総合スポーツ競技大会**です。「観るスポーツ」ではなく「参加するスポーツ」大会で、参加するだれもがメダリスト候補です。

4年に1度世界で開催されており、**日本では初めての開催**となる関西大会では国内3万人、海外2万人の計5万人の参加を予定しています。

期間中には日本だけでなく世界中から競技者が集い、競技だけでなくスポーツ内外の交流や観光・文化体験などを楽しむイベントです。



### ワールドマスターズゲームズ2027関西大会 概要

開催期間	2027年5月14日(金)～30日(日)の17日間
開催競技	公式競技 35競技59種目(他 オープン競技実施)
開催場所	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
開催目標	参加者5万人(国内3万人、国外2万人：150か国・地域以上)
主催	公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
共催	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
後援	スポーツ庁

